

## 7. 『子供の夢』の奥付

奥付の記載事項は以下のとおり。（現物の表記は縦書・旧字体）

明治四十四年三月廿八日印刷 明治四十四年四月一日発行 定価金六拾五銭

著作者 丹羽五郎

発行者 東京市日本橋区小舟町二丁目五番地 靱山仁三郎

印刷者 東京市芝区愛宕町三丁目二番地 小松周助

印刷所 東京市芝区愛宕町三丁目二番地 東洋印刷株式会社

発行所 電話番号京橋二一三九番

東京市京橋区築地二丁目十五番地 靱山書店

振替貯金東京二四一七番

（斎藤製本所製本）

（←この行のみ、右から左への横書・旧字体）

## 8. 『子供の夢』の全体の構成

ページ付けおよび内容は以下のとおり。

p. [1] タイトルページ: [2] ブランク: I-V, 序文: [VI] ブランク: 1-2, 目次: 1-23, 第1章: [24] ブランク: 25-43, 第2章: [44] 図版: 45-65, 第3章: 66, 図版: 67-90, 第4章: 91-106, 第5章: 107-118, 第6章: 119-131, 第7章: [132] 図版: 133-144, 第8章: 145-179, 第9章: [180] 図版: 181-221, 第10章: [222] 図版: 223-239, 第11章: [240] 図版: 241-258, 第12章: [259] 奥付: [260] 広告

ただし、p.176 に該当するページに印刷されたページ付けは 17 という2桁の数字のみであり、右端の数字が欠けている。

なお、上記とは別に全体のページ付けに含まれず独立したページ付けも有しない別刷用紙に印刷された彩色図版（裏面はブランク）が各章冒頭に1枚ずつ（全体では計12枚）添付されている。

---

\*以降、原文の引用の際の表記は原則として以下のとおりとする。

- ・縦書あるいは右から左への横書 → 左から右への横書
  - ・現在では一般にあまり用いられない字体 → 新字体あるいは俗字等
- 

## 9. 『子供の夢』の序文

タイトル：子供の夢に就て

署名：五郎

計5ページ。独立したページ付けあり（p.I-V）。挿絵画家に関する以下の記述が含まれている。

表紙、扉、挿絵。悉く悴の所謂「僕の好きな叔父さん」芳村椿花君の筆に成った。

## 10. 『子供の夢』の目次

タイトル：子供の夢 目次

計2ページ。独立したページ付けあり（p.1-2）。

## 11. 『子供の夢』の本文と挿絵

各章のタイトルおよび直前に添付された挿絵のキャプションは、以下のとおり。

第 1 章 p.1-23	タイトル	(一) 洋服姿の白兔 <small>やうふくすがた しろうさぎ</small>
	挿 絵	可愛らしい撫子色の眼を見張つて <small>か あい なでしこいろ め み は</small>
第 2 章 p.25-43	タイトル	(二) 涙の池 <small>なみだ いけ</small>
	挿 絵	最後には涙が池のやうに廊下一杯漲ぎつて <small>しまひ なみだ いけ らう か いたばいみな</small>
第 3 章 p.45-65	タイトル	(三) 上陸 <small>じやうりく</small>
	挿 絵	賞品賞品と云ひながら一同綾子さんの周囲に集まつて <small>しやうひんしやうひん い いちどうあやこ まはり あつ</small>
第 4 章 p.67-90	タイトル	(四) 窓一杯の大きな手 <small>まど ばい おほ て</small>
	挿 絵	家ぐるみ焼いちまへ <small>うち や</small>
第 5 章 p.91-106	タイトル	(五) 萁を吹かす芋虫 <small>たばこ か いもむし</small>
	挿 絵	やがて煙管を下に置いて伸をしながら大きな欠伸 <small>きせる した お のび おほ あくび</small>
第 6 章 p.107-118	タイトル	(六) 鳩の巣を覗く轆轤首 <small>はと す のぞ ろくろくび</small>
	挿 絵	蛇が来た蛇が来た <small>へび き へび き</small>
第 7 章 p.119-131	タイトル	(七) 化物屋敷の台処 <small>ばけもの やしき だいどころ</small>
	挿 絵	其の筈よ化猫ですもの <small>そ はず ばけねこ</small>
第 8 章 p.133-144	タイトル	(八) 金目の黒猫 <small>きん め くろねこ</small>
	挿 絵	私も気狂よ貴嬢だつて気狂だわ <small>わたし きちがひ あなた きちがひ</small>
第 9 章 p.145-179	タイトル	(九) 年が年中午後三時 <small>ねん ねんちゆう ごど じ</small>
	挿 絵	姉妹三人井戸の底に住んで居ました <small>きやうだみ にん あ ど そこ す ん</small>
		この章は以下の 3 部分 (p.145-159, p.160-166, p.167-179) からなる。 (上) 考へ物 (中) 午後三時 (下) 井戸の底の三人娘 <small>かんが もの ごど じ あ ど そこ にんむすめ</small>
第 10 章 p.181-221	タイトル	(一〇) ハートの女王 <small>ちやわう</small>
	挿 絵	首を打てと無慈悲にも <small>くび う む じ ひ</small>
		この章は以下の 3 部分 (p.181-194, p.195-213, p.214-221) からなる。 (上) 白薔薇 (中) 庭球 (下) 公爵夫人 <small>しろしやうび テニス こうしやくふじん</small>
第 11 章 p.223-239	タイトル	(一一) ハートの王様 <small>わうさま</small>
	挿 絵	此の国の一番古い法律ぢや <small>こくに いちばんふる はふりつ</small>
第 12 章 p.241-258	タイトル	(一二) 妹の夢と姉の夢 <small>いもと ゆめ あね ゆめ</small>
	挿 絵	一同正体を現はしてヒラヒラ虚空へ舞上がる <small>みな しやうたい あら そら まひあ</small>
		この章は 2 部分 (p.241-254, p.255-258) からなる。後半部タイトルは以下のとおり。 あね ゆめ 姉の夢

本文末尾 (p.258)には (子供の夢、終) との記述がある。

なお、本書は全 12 章から成るが、原著第 9 章と第 10 章に該当する章は存在せず、原著第 5 章と第 6 章に該当する部分にそれぞれ 2 章分 (第 5-6 章および第 7-8 章) を割り当てている。